2　地理歴史・公民

学校番号	1009

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新詳　世界史Ｂ　（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代につながる歴史的事象から、現代の諸課題の背景を知る。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・古代世界の成立からその後の中世・近代へのつながりを理解させる。

2　学習の到達目標

・教科書等の文字資料、地図、映像・写真資料などから、歴史的思考力を培う。
・古代オリエント・ヨーロッパの形成過程をつぶさに研究し、その後の中世ヨーロッパ、近代ヨーロッパの形成過程を考察することができる。
・キリスト教、仏教、イスラム教の成立と周辺文明との関係を追究し、現代につながる社会の成り立ちを考察できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心を高め，文化の多様性と現代世界の特質，現在の世界の諸課題について主体的に追究している。	世界史を，時間的・空間的なつながりに着目して考察している。諸地域の政治や文化などさまざまな世界の諸事象を捉え，広い視野から公正に判断している。	地図や年表といった世界史についての諸資料を，公正かつ適切に取捨選択して活用している。	世界史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や現代世界とも関連付けながら，理解し、その基本的知識を身につけている。
評価方法	出席状況 宿題等の提出状況	定期考査 授業レポート ノート	定期考査 授業発言の記録 ノート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
4月～9月	人類の出現・オリエント世界と地中海世界の形成	・人類の出現 ・オリエント世界の形成 ・地中海世界の形成とオリエントとの融合 ・ローマと地中海世界の成長 ・ローマ帝国周辺の西アジア	 ○ ○ ◎	○ ○ ◎ ○ ○	◎ ◎ ○ ○	 ○ ◎ ◎	a:地中海世界が多様性に富むことに興味を持ち、追究している。 b:地中海世界の多様性を，民族、風土などの視点を踏まえつつ総合的に考察している。 c:各種資料から地中海世界の特性や他地域との交流，社会構造を読み取ることができる。 d:地中海世界が、その中で相互のその影響を受けつつ独自の世界を築いたことを理解している。	出席状況 定期考査 ノートなど提出物
	ヨーロッパ世界の形成	・地中海北方へ広がるキリスト教 ・西ヨーロッパの成長と拡大 ・封建社会の解体と王権の伸張	○ ◎	○ ◎	◎ ○ ○	○ ◎ ○	a:ゲルマン人とスラブ人の移動、イスラーム世界のヨーロッパ進出とビザンツ帝国の動向がヨーロッパ世界の形成につながったことに関心がもてる。 b:ヨーロッパにおける地域的差異を比較し、その相違点と共通点を考察・表現できる。 c:地図などの各種資料を活用して，各地における特色と変容の様子を把握できる。 d:ヨーロッパ社会の形成、封建社会の形成と、教皇権・皇帝権・王権の対決を総合的に捉えることができる。	出席状況 定期考査 ノートなど提出物
	諸地域世界の形成と交流	・イスラーム世界の形成と拡大 〈イスラーム世界〉	◎	○	○	◎	a:狭義の宗教には収まらないイスラームの“社会性”に関心をもてる。 b:イスラームが地域・民族をこえて拡大できた理由とその影響について考察し、表現できる。 c:資料・地図などを活用して、イスラームの特色・広がりを考察できる。 d:イスラーム成立の背景と、地域・民族のわくをこえて拡大する理由について、イスラームの普遍性という観点から理解できている。	出席状況 定期考査 ノートなど提出物

10月～2月	東アジア世界の変動と再編	・アジア諸地域の栄華と成熟 ・世界の一体化の進展とアジアの変容 〈イスラーム世界〉	○ ○	 ◎	◎ ○	○ ○	a:イスラーム諸王朝が各地で独自の文明を成熟させたことに関心をもち、追究している。 b:多民族国家であり、世界帝国であったオスマン帝国の外交や内政のあり方を、ヨーロッパとの関係から考察し、表現できる。 c:地図などの各種資料を活用し、欧米諸国の進出にさらされたアジア各地域の状況を指摘できる。 d:各地で独自の文明を築いたイスラーム諸王朝について理解している。欧米諸国の進出に対するアジア各地域の外交・内政について理解している。	出席状況 定期考査 ノートなど提出物
	大規模な分業体制の成立	・大航海時代～世界の一体化の始まり ・ルネサンスと宗教改革 ・スペインの盛衰とオランダの繁栄	◎ ○	○ ◎ ○	◎ ○	 ◎ ◎	a:ヨーロッパの膨張とともに世界の一体化に興味が持てる。 b:就航改革の背景とその実際の動きを具体的に考察でき、表現できる。 c:ルネサンス時代に花開いた各種文化を図、写真などで確認し現代の文化、文明に与えた影響を指摘できる。 d:ヨーロッパでのスペインの隆盛とそのスペインから独立してスペインを追い落として世界の覇権を握ったオランダの様子を理解している。	出席状況 定期考査 ワークシート ノートなど提出物
	ヨーロッパ諸国の主権強化と大西洋三角貿易	・17 世紀の危機と西ヨーロッパ諸国の主権強化 ・東ヨーロッパ諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟 ・イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	 ○ ◎	○ ◎	 ◎	◎ ◎ ○	a:ヨーロッパ各国の変革と、主権国家体制の成立について関心を持ち、追究している。 b:各国の近代的な国際関係の成立を理解する。また、英仏の覇権争いがなぜ世界各国に及ぶものであるか考察・表現することができる。 c:地図・図表からヨーロッパの国境の変化や、英仏の世界規模での覇権争いを指摘できる。 d:ヨーロッパの国際状況が変化する中で、近代的な国際関係が成立していったことを理解できる。	出席状況 定期考査 ワークシート ノートなど提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎や○を付けている。